様式第2号の6(第3条関係)

(1面)

呼	のりづけ	(再交付の場合を除く。)	のりづけ
	写　　真 (4cm×3cm) 脱帽のこと		写　　真 (4cm×3cm) 脱帽のこと

写真の裏面に市町村名及び氏名を記入すること。

身体障害者診断書・意見書(呼吸器機能障害用)

氏　名	年　　月　　日生	男　　女
住　所	市 郡	町 村　　番地
①　障害名(部位を明記)		
②　原因となった 疾病・外傷名	交通，労災，その他の事故，戦傷，戦災， 疾病，先天性，その他(　　)	
③　疾病・外傷発生年月日　　年　　月　　日・場　所		
④　参考となる経過・現症(エックス線写真及び検査所見を含む。) 障害固定又は障害確定(推定)　　年　　月　　日		
⑤　総 合 所 見 〔将来再認定　要(軽度化・重度化)・不要〕 〔再認定の時期　　年　　月〕		
⑥　その他参考となる合併症状		

上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付する。

年　　月　　日

病院又は診療所の名称　　市　　町
所　　在　　地　　郡　　村　　番地

診療担当科名　　科　　医師氏名

身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕

障害の程度は，身体障害者福祉法別表に掲げる障害に

- 該当する　　(　　級相当)
- 該当しない

注意1　障害名の欄には，呼吸器機能障害等現在起こっている障害を記入し，原因となった疾病・外傷名の欄には，肺気腫(しゅ)等障害の原因となった疾病等を記入するとともに，該当する事項を○で囲んでください(「その他」を囲んだ場合は(　)内に具体的に記入してください。)。

2　障害区分や等級決定のため，改めて状況及び所見についてお問い合わせする場合があります。

呼吸器機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1　身体測定

身長　　cm　　体重　　kg

2　活動能力の程度

ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ　平坦な道を早足で歩く，あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ　息切れがあるので，同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い，あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時，息切れのために立ち止まることがある。

エ　平坦な道を約100m，あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ　息切れがひどく家から出られない，あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3　胸部エックス線写真所見(　　年　　月　　日)

ア　胸膜癒着　　(無・軽度・中等度・高度)

イ　気腫(しゅ)化　　(無・軽度・中等度・高度)

ウ　線維化　　(無・軽度・中等度・高度)

エ　不透明肺　　(無・軽度・中等度・高度)

オ　胸郭変形　　(無・軽度・中等度・高度)

カ　心・縦隔の変形　　(無・軽度・中等度・高度)

4　換気機能(　　年　　月　　日)

ア　予測肺活量　　・　　L　(実測肺活量　　・　　L)

イ　1秒量　　・　　L　(実測努力肺活量　　・　　L)

ウ　予測肺活量1秒率　　・　　%　$\left(=\frac{イ}{ア}\times 100\right)$

(注1)　アについては，下記の予測式を使用して算出すること。

肺活量予測式(L)

男性　0.045×身長(cm)－0.023×年齢(歳)－2.258

女性　0.032×身長(cm)－0.018×年齢(歳)－1.178

(予測式の適応年齢は男性18－91歳，女性18－95歳であり，適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

(注2)　呼吸障害等のために，指数の測定ができない場合は，その旨記載すること。

5　動脈血ガス(　　年　　月　　日)

ア　O_2分圧

①　室内気での検査数値　　:　　・　　Torr

②　酸素吸入中での検査数値　　:　　・　　Torr

(酸素吸入の状況　　)

イ　CO_2分圧　　:　　・　　Torr

ウ　pH　　:　　・

エ　採血より分析までに時間を要した場合　　時間　　分

オ　耳朶(だ)血を用いた場合　　:　〔　　〕

(注1)　O_2分圧については，原則として室内気(room air)での検査数値とする。

(注2)　O_2分圧が，本人の状態により酸素吸入中の数値しか得られない場合は，「②酸素吸入中での検査数値」に数値及び酸素吸入の状況を記載すること。

6　その他の臨床所見